

さんよう

26号

H28.4.30発行

2015年度進学・就職状況・ 2016年度生徒数

● 2016年度全校生徒数

		1年生	2年生	3年生	合計
普通科	男子	161	165	166	492
	女子	110	95	56	261
	計	271	260	222	753
情報会計科	男子	25	19	32	76
	女子	17	17	12	46
	計	42	36	44	122
機械科		98	77	100	275
計		411	373	366	1150

● 2015年度生徒進学数

	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		専修学校等		計
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	
男子	0	0	0	0	49	35	4	0	37	9	134
女子	0	0	0	0	17	5	0	3	20	8	53
合計	0	0	0	0	66	40	4	3	57	17	187

● 2015年度就職数

区分		3年生 在校生数	就職 希望者	内定者
普通科	男子	121	23	22
	女子	68	11	9
	計	189	34	31
情報会計科	男子	27	9	9
	女子	22	4	4
	計	49	13	13
機械科		72	39	38
合計		310	86	82

表紙・目次

2016年度生徒数 2015進学・就職状況 … 1p
 会長・校長・理事長 挨拶 … 2・3p
 山陽同窓大会のお知らせ・山陽同窓生の皆様へ … 3p
 新校舎建設開始報告 … 4p
 クラブOB会連合会イベント … 5p

新・OB探訪 …… 6p

・二葉 石井 徹祐(平16年卒普通科卒)
 山陽同窓会入会式 …… 7p
 クラブ活動報告 …… 7p
 岸理事長退任のご挨拶 …… 7p
 お悔み・会費納入者名簿・電報・ご寄付 …… 8p



同窓会会員の皆様方には、日頃から会の運営にご理解とご支援を頂き厚くお礼申しあげます。

山陽高等学校では、5年前に男女共学化をして以来、女子生徒の同窓会員を迎えるのは今年で3回目となりますが、新たに女子生徒90名、男女合計では308名を新会員として迎えました。

部活動においても、男子生徒だけでなく女子生徒も活躍しており、県大会や全国大会に出場するなど、学校全体のクラブ活動が活性化してきています。一方、進学実績においても昨年度末は共学化後、女子の公立大学合格者が出るなど向上してきており、文武両道で成果が上がってきています。

また、昨年7月から工事に着手しておりました新校舎が、いよいよ本年7月に完成します。新校舎は鉄筋4階建てで、現行の3館を一つに集約した巨大校舎となります。

さらに、来年度は創立110周年を迎えます。このように、学園は今、大きな転換期にあり、同窓会としても、これらを契機とし、山陽高等学校の更なる発展に向けて、学校・生徒支援の充実に向けて取り組んで参りたいと考えております。

会員の皆様方には、母校の発展及び後輩たちのために、今後とも、物心両面のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

さて、今年の同窓大会は、来る6月18日(土)にホテルグランヴィア広島で開催を予定しております。大会当日は、各クラブのOB会をはじめ、同期会、各支部、先生を囲む会、最近の卒業生などのテーブルも準備するほか、女子の卒業生・会員の皆様方も参加しやすいよう、女子のテーブルもご準備します。懐かしく大いに楽しい大会になるよう企画を進めております。

会員の皆様方におかれましても、この激動の社会を生きていく中で、日頃から人と人との出会いや絆を大事にしていくことは重要で不可欠なことだと思います。そういった意味からも、同窓大会は有意義な場と言えますので、是非、多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。また、その他同窓会活動の場へも積極的にご参加いただければ幸いです。

今年度も会員の皆様方のご支援とご協力をお願いし、併せて、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

学校法人 広島山陽学園

理事長 市原 則之

(昭和35年 普通科卒)



この度、はからずも我が母校山陽学園の理事長をお引き受けることになりました。来年、開学110年を迎える伝統ある学園の理事長就任に身の引き締まる思いであります。

学祖石田米助翁の開学から今日までの長い歴史の中では幾多の苦難の時代があったと聞き及んでおります。しかし、往時の関係者のご尽力で見事乗り越えてこられましたこと、先ずはそうした先人諸兄のご苦労に対し心からの感謝を申し上げます。

とりわけ、岸前理事長の業績は顕著なるもので、一時生徒総数が600名前後という学園経営の危機に陥る中、理事長自ら先頭に立って、理事、教職員、同窓会と一体でこの難局を打開して、本年は410名を超える新入生を迎え、総生徒数が1200名近くまでに復興された業績に深甚なる敬意を表するところであります。

こうして、新校舎の建設など順調に発展をみる中、岸理事長は誠に残念ながら健康を害され、理事長職を不肖私に引き

受けてほしいと要請されました。しかし、小生はその任に非ずと再三お断りを致しましたが、岸理事長から昭和30年代の「山陽ドリーム」をとの言葉に心が動き、母校のため私でお役立ちできるならとお引き受けさせて頂いた次第であります。

私が高校に入学した今から59年前の1957年(昭和32年)当時の山陽高校は、ホッケー、軟式テニス、サッカーほか幾多の運動部が全国レベルの大会で活躍し、そうした先輩達は卒業後に大学や実業団チームに進み日本代表選手となつてオリンピックやアジア大会でご活躍されていきました。

こうした先輩達の勇姿に私共在校生は母校に誇りを持ち、自らも夢を描いて心躍らせておりました。

腕白な校風ではありましたが、運動部のみならず文化部活動も盛んで質も実も剛健で躍動的な学園でありました。

現在生徒数が増え新校舎も落成します。次は体育館などの運動施設や文化施設も必要と思われれます。しかし、体が大きくなつてもそこに魂を持たなければ意味がありません。

母校に対し、卒業生も在校生も誇りを持つことが大切です。

岸理事長の熱い思いの「山陽ドリーム」という魂を、生徒、教職員、PTA、同窓会、理事ほか関係者が一丸となって実現させようではありませんか。

不肖私も皆様と一緒に希望ある学園の未来づくりに励みたいと思っております。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願いし、理事長就任のご挨拶とさせて頂きます。



山陽高等学校の同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは地域社会で中心となって活躍する人材の育成をすすめてまいりました。また、一〇九年の歴史と伝統を受け継ぎ、「強い山陽・さわやかな山陽」の実現にむけて、徹底した教育改革を進め、特色ある、活気に満ちた学校づくりに全力で取り組んでいます。

さて、少子化が進む中、本校においても将来的に生徒確保が厳しくなることが予想されます。どこの私立高校においても生き残りをかけ、学校挙げての様々な改革を推進し、「選ばれる魅力ある学校づくり」に努力しています。そのような中、今回は山陽高校の改革も含め、皆様にご一年間の本校の近況についてご報告いたします。

一つは、平成二十八年七月の完成を目指し、同窓会の皆様も思い出深いと思われ、既存の3・4・5号館校舎をひとつに集約した新校舎建設が順調に進んでおり、七月には完成予定です。九月には新校舎が利用できることになっていきます。

新校舎完成後、既存の1・2号館の改築工事も九月、十月にかけて行なわれます。その後五十年以上使用した既存の3・4・5号館校舎の解体工事が十一月より五ヶ月かけ進行していく予定です。

新校舎は山陽高校の顔としても魅力あるものになるのではないかと期待しております。完成により山陽高校の教育環境も大きく変わり、生徒にとって使いやすい機能的な校舎で、落ち着いた

て学習に励み、学び舎として新たな歴史を築いてくれるものと期待しています。

二つ目は、校外との教育連携も積極的に進めており、広島国際大学に続き、五月には環太平洋大学と高大連携協定を締結し、大学体験や進路選択において高校と大学との間の密な連携を実現しております。また、吉備国際大学、岡山理科大学、広島経済大学、広島修道大学、広島女学院大学などの大学とも連携しており、進路学習の一環として大学での学びを体験する「ビジット・キャンパス」という取り組みもスタートしております。今後の進路意識の向上が期待されます。

このような改革の成果もあり、平成二十七年年度の3年生の進路決定状況につきましては、各自の持ち味を生かし希望の進路を勝ち取ることができました。地元、広島を中心に多くの生徒が大学進学への夢をかなえています。また、就職に關しても、公務員関係では広島市役所をはじめ、刑務官採用試験、税務職員採用試験への合格を達成いたしました。また、愛知県へのトヨタ自動車への内定など、大手・有力企業への内定を次々といただくなど、今年も健闘が光りました。

また、クラブ活動ですが、今年は女子ハンドボール部、空手道部、自転車競技部、新体操部が全国大会へと駒を進めることができました。また、陸上競技部から団体メンバーも選出されております。サッカー部につきましては男子が総体・選手権・新人戦全てにおいて県3位、中国大会出場を果たしたほか、創部五年目の女子も総体・選手権で準優勝、中国大会ベスト4の実績をあげております。さらに、卓球部、ホッケー部、男子ハンドボール部が中国大会に出場活躍しました。文化系クラブについても活発に活動しており、特に和太鼓部は地域の中学校での演奏活動などを通じて非常に高い評価をいただいております。

入試につきましても、少子化により多くの学校が受験者・入学者を減らす中、本校はここ数年安定した入学者数となっております。特に平成二十八年度入試におきましては、非常に高い学力層の中学生たちが数多く受験してくるなど、確実に「山陽」の評価が高まっていることを実感する次第です。以上、学校の近況について述べさせていただきました。平成二十九年には創立一〇〇周年記念式典も計画しております。同窓会の皆様には、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。また、より一層のご活躍を衷心より祈念申し上げます。

平成28年度 山陽同窓大会のお知らせ

日時：平成28年6月18日（土）
 受付：午後6時より
 会場：ホテルグランヴィア広島 TEL 082-262-1111
 会費：6,000円（平成22年度卒業以降の方は3,000円）
 申込締切日：平成28年5月20日（金）まで
 お問合せ先：山陽同窓会事務局
 〒733-8551 広島市西区観音新町4-12-5
 TEL 082-232-9156 FAX 082-232-2497
 E-mail dousoukai@sanyo.ed.jp



※写真は平成26年度 山陽同窓大会のものです。

山陽同窓生の皆様へ

同窓生が国政へ挑戦!!

山陽高校同窓生(昭和52年卒)の **あぜもと将吾君** しょうご が国政への進出を目指して頑張っているとお聞きしています。同窓生が国の政治の世界で活躍することは、我々同窓生はもちろんですが、在校生にとっても大変心強く励みになることであり、私としても皆さんと共に、是非、実現するよう応援したいと考えております。

山陽同窓会 会長 城戸常太

新校舎建設開始 2016年夏完成予定!!



平成27(2015)年7月4日、新校舎起工式が行われ、いよいよ新校舎建設工事がスタートしました。現在の3号館・4号館・5号館を解体し、新館・1号館・2号館に施設設備の再編成を行う大規模プロジェクトとなります。

1F

北エリアに来客用玄関と事務局を配置

1階北エリアには、正門から連動する形で来客用玄関と事務局を配置しています。また、南エリアには理事室・校長室・進路指導室など学校運営に関連する施設が並んでいます。校舎中央には2階につながる生徒出入口を設置。二重アーチの堂々とした外観は新校舎のシンボリック的存在です。また、東側には生徒用駐輪スペースが用意されます。

北エリアに職員室、南北エリアに9教室を配置

2階北エリアには職員室を配置。これまで学年ごとにあった職員室が一つに集約されます。また、北エリアに3教室、南エリアに6教室を設定。内装は、木質系の仕上材を使用することで温かみのある、落ち着いた雰囲気の間となる予定です。男子トイレ・女子トイレも各階に設けられています。

2F

3F

北エリアに芸術教室群、中央に吹抜け交流スペース

3階北エリアは、書道教室・音楽室・美術室といった芸術ゾーンとなっています。また南エリアには8教室を設定。海を臨む絶好の環境です。さらに中央部分は吹抜けとなっており、交流スペースが設けられる予定です。

北エリアに家庭科・理科教室、南エリアに教室群

4階南エリアは瀬戸内海を一望するオーシャンビュー。西角には交流の場としてのラウンジスペースが設けられる予定です。北エリアには理科実験室、家庭科調理実習室、家庭科被服室などの特別教室プラス一般教室が配置されます。中央部吹き抜けは自然採光となっており、やわらかな光が降り注ぎます。

4F

山陽クラブOB会連合会 第2回イベント

ホッケー&ハンドボール教室



剣道部レクリエーション大会



山陽同窓会の生徒支援推進委員会が平成26年に結成された広島山陽クラブOB会連合会と協議して第2回秋のイベントをホッケー部とハンドボール部、剣道部が開催いたしました。

山陽高校のクラブ活動のPR活動を行い、世に知らしめ将来小・中学校の生徒が山陽高校に入学をして頂ければとの思いで行ってまいりました。

ホッケー教室では、当日、生憎他のホッケー大会と重なり少人数（中学生4名 小学生7名 幼児7名 保護者4名 OB9名）でし

たが、晴天のホッケー日和で各チームに分かれて楽しくゲームを行い最後にご褒美を頂き喜んで散会いたしました。剣道では、ホッケー、ハンドとは別日となりましたが、参加者（小中学生60名 保護者40名 OB30名）で楽しく、そして真剣に汗を流す事ができました。

次年度以降も継続事業として開催したいと思っています。

ホッケー部OB 宮本 隆三

一つなげよう 山陽のわ
新OB探訪

二葉

株式会社 二葉
 総支配人取締役

石井 徹祐

平成16年 普通科卒

◆高校在学中の想い出

本校には祖父が山陽中学の時代お世話になっていました。そのようなこともあり祖父は私が山陽高校に入学した際、非常に喜んでくれました。入学した際、私は特進クラスだったので、クラブ活動などに所属することはなく、常に勉強の日々でした。今では車の免許も取得しましたので、観音まで遠



◆卒業後

本校を卒業後、私は北海道の大学に進学しました。その大学のインターンシップで、東京の品川にある高輪プリンスホテルで、職場体験をさせて頂きました。そこでサービス業とは？というのを教えて頂き、お客様に喜んでいただけることの嬉しさを覚えました。大学卒業後、二葉で働き始めました。そして、2年前の2月に新しく二葉を建て替え、総支配人となり、今まで以上にお客様に喜んでいただける空間を提供できるよう日々努力をしています。

く感じませんが、当時は免許を持っていない訳がありませんでしたので自転車で約1時間かけて通学していました。また、当時0限という1時限目の前に授業がありましたので、朝早く起きることが苦手だった私にとって非常に辛かったことも今ではいい思い出です。

◆今後について

これから結婚式・披露宴を行われる方達に、「二葉で披露宴ができてよかった」と、もっとたくさんのお客様から仰って頂ける様、社員一丸となって努力していく所存であります。また、お越しになられるお客様へ「最高のおもてなしを」という先代からの言葉を忘れず、まだまだ若い私ですが頑張っていきます。卒業後、結婚式をお考えの皆様も是非二葉へ見学に来て頂ければと思います。



お店紹介



鶴羽根神社の神々に見守られるように建つ「二葉」は、宿泊施設であったものを、昭和二十二年に料亭として創業したのが始まりです。

創業から半世紀以上、結婚式やご結納のほか、重要なご会談やご接待などでもご指名をいただいております。厚生林の茂る霊験あらたかな二葉山を背景に、樹齢数百年の木々を配したダイナミックかつ繊細な表情の庭、凛と美しい表情で行む現代和風建築も併せてご覧ください。

日本の伝統を今に表現する和モダンの空間とおもてなし、そして現代和食の真髄を追究した料理は、美意識の高い皆さまに、きっとご満足いただけることでしょう。

店舗名 二葉 FUTABA
 創業 1947年(昭和22年)
 住所 広島県広島市東区二葉の里2丁目5-11
 TEL (082) 261-0191
 FAX (082) 263-7151
 URL <http://futaba-tsuruhane.com>
 E-mail info@futaba-tsuruhane.com
 取扱品目 挙式・披露宴

新しく308名の新会員が同窓会に入会しました!!



上段左から JB野田、JB竹内、KA川原、KA西川、KB赤石、KB沢田
中段左から FD大窪、FD山口、FE中山、FE藤山、JA山田、JA児玉
下段左から FA今井、FA久保田、FB的場、FB近藤、FC掛、FC道下

今年の卒業生から 18名が代議員に選出されました。

※各クラス2名

K	K	J	J	F	F	F	F	F
B	A	B	A	E	D	C	B	A
沢田	赤石	西川	川原	竹内	野田	児玉	山田	藤山
幸大	隆臣	順一	大弥	慧	衣	伸哉	あいこ	英大
								雛乃
								仁汰
								里菜
								竜哉
								有莉咲
								輝
								仁美
								久保田
								智哉
								今井
								里沙

国体出場

陸上競技部 梅田夏希

選抜出場

空手道部 男子団体 第3位
男子ハンドボール部 準優勝

県予選大会

男子サッカー部 第3位
女子サッカー部 準優勝
女子ハンドボール部 優勝

総合体育大会出場

男子サッカー部 第3位
女子サッカー部 準優勝
自転車競技部 藤田 睦
女子ハンドボール部 優勝
新体操部 金田翼佐

選抜県予選

女子ハンドボール部 優勝
男子ハンドボール部 準優勝

クラブ活動報告



国際選抜出場

書道部 錦織 愛

新人大会出場

女子ハンドボール部 優勝

理事長退任のご挨拶

岸英雄前理事長

同窓会並びに役員の方々に、平成9年に同窓会を山下前同窓会長を中心に再立ち上げをして、母校を無くすなど学園運営に関わらせていただいていた、早いもので足掛け19年になります。この度は、私の体調不良で任務が果たせなくなり、27年3月31日をもって15年務めさせて頂きました理事長の役を理事会の承認をいただき退任させて頂きました。

後任には将来の山陽高校のことを考えて、たくさんの方々の任務を持ってもらえる元JOC専務理事の市原先輩に山陽ドリームを訴えて無理を承知ながら何度も頭を下げてお願いしたところ、山陽高校開学110周年の山陽ドリームに心傾けていただいていた年度末に4月よりの就任を引き受けていただくことになりました。このことで、山陽高校の将来展望が大きく開けたことは間違いありません。市原新理事長の下で名門山陽高校の復活に向けて、力を合わせて頑張りましょう。長い間のご支援に感謝を申し上げてお礼を申し上げます。



電報

- 東広島市議当選
奥谷 求 普通科59年
中川 修 普通科59年
熊野町議当選
竹爪 憲吾 普通科47年
坂町議当選
大田 直樹 普通科43年

ご寄付の皆さま

- 旧制中学
昭13 山口紀三郎
第一商業
昭17 故板倉信夫
全日制・普通科
昭24 橋本 雅己
昭33 大森 弘一
全日制・商業科
昭53 奥田 豊

同窓大会の時の様子

- 第一商業
昭17 國森 守
全日制・情報処理科
平22 空川 裕司
全日制・商業科
昭30 梅谷 博文
昭33 宮崎 裕也
昭33 登 武彦
昭36 角田 純
昭45 森田 美穂
昭47 加島 徳司

終身会費納入者

- 旧制中学
昭19 乗重 久夫
昭20 紀伊久太郎
定時制・普通科
昭30 石津 一知
昭35 太刀掛靖明

全日制・普通科

- 昭24 橋本 雅己
昭25 落 満
昭29 空本 明
昭29 中島 義則
昭30 三木 善弘
昭37 右近 義信
昭40 山縣 慶猛
昭41 山下 義文
昭41 高下 道寿
昭42 武下 敏治
昭43 田島 博
昭43 谷 恵介
昭43 平岩 吉満
昭44 櫻井 博志
昭47 岡 信行
昭52 奥谷 求
昭54 長野 宏
昭56 中川 修
昭57 中野重次郎
平1 小西 隆博
平23 堂河内優貴
平23 中元 大貴
平25 瀧谷 実
平27 卒業生189名

年會費から

- 昭27 卒業生70名
終身費に納られた方
旧制中学
昭12 頼美 正弘
定時制・普通科
昭31 柿内 幹章
第一商業
昭17 上野 正行
昭20 前反 達哉

全日制・普通科

- 昭25 岸 宗夫
昭25 西本 湧一
昭32 坂本 良夫
昭33 柴崎 静加

全日制・商業科

- 昭35 和田 長生
昭35 稲田 正輝
昭42 山下千由士

年會費納入者

- 旧制中学
昭17 平岡吉太郎
定時制・普通科
昭32 細田 正博
全日制・普通科
昭25 小中 武志
昭25 橋本 直生
昭34 高橋 毅
昭43 石田 久満
昭43 丸山 道信
昭44 石丸 光男
昭45 澤 幸次郎
昭46 中本 和東
昭47 宇根 弘明

全日制・商業科

- 昭25 石田 英雄
昭37 田村 仁宏
昭38 藤田 芳穂
昭40 白井 明
昭60 半田 隆
全日制・機械科
昭44 松島 博幸
平10 多元 義彦

お悔やみ
申し上げます
H27.4月~H28.1月末

旧制中学

- 大正13 二森 馨
大正13 渡邊 義亘
昭和6 石田 秋夫
昭和7 正化 猛
昭和10 信川 信二
昭和12 原田 功
昭和13 山口紀三郎
昭和15 渡邊 睦雄
昭和17 下村 安男
昭和18 松田 滋
昭和18 佐藤 説男
昭和19 平沢 武雄
昭和19 土岸 初日
昭和20 桐本 勝
昭和20 有岡 邦雄
昭和20 福田 生実
昭和21 明 平八郎
昭和21 迫田 昭二
昭和21 木谷 清
昭和22 楠本 卓夫

昭和15

- 清水 繁生
昭和17 板倉 信夫
昭和17 平林 昇
昭和18 福田三六郎
昭和19 中本 豊射
昭和19 西本 至
昭和20 松脇 義治
昭和20 森岡 光治
昭和21 湊 啓
昭和21 栗原 柁夫
昭和21 川久保正徳
昭和22 須崎丈太郎
昭和23 吉岡 章
昭和23 小田 幸雄

第二商業

- 昭和15 筒井 時雄
昭和16 大田 義弘

定時制・普通科

- 昭和26 岩本 富之
昭和26 平田 佐
昭和27 加藤 建三
昭和29 貞永 博壮
昭和30 山本 湊

定時制・商業科

- 昭和32 曾根新太郎

全日制・普通科

- 昭和25 大勢登康憲
昭和29 廿日出正公
昭和29 大須賀道彦
昭和29 林 保
昭和31 中丸 清
昭和32 河野 啓二
昭和32 中田 幸雄
昭和34 松尾 和良
昭和35 府本 英雄
昭和36 今村田 正
昭和38 眞倉 勝洋
昭和38 龜田 征彦
昭和38 石田 丕士

昭和41

- 和泉 忠男
昭和43 志木 昭幸
昭和47 大迫 陽樹
昭和47 斉藤 克美
昭和50 小中 義明
昭和52 中村 祐次
昭和59 浜田 幹治
平成10 竹廣 勝

全日制・商業科

- 昭和24 本田 弘
昭和25 高山 博之
昭和25 今田啓三郎
昭和25 三浦 喜正
昭和29 日浦 将行
昭和29 大内 恒弘
昭和30 樽本 昌躬
昭和30 蒔田 定夫
昭和30 浜田 積
昭和31 吉本 隆司
昭和31 滝口 法司
昭和34 石原 明典
昭和35 迫 泰栄
昭和36 横田 武彦
昭和40 向井 博男
昭和41 景山 茂
昭和54 迎 秀敏
昭和58 船石 清秋

全日制・機械科

- 昭和41 村本 克宏
昭和42 中川 司郎



編集後記

1年に1回のこの会報誌ですが、内容はいかがでしょうか?
ご意見やご要望、載せてほしい記事、頑張っている山陽OBの情報、こんな活動をしている...などありましたら、是非事務局までご連絡ください。さて、1年は早くも取り上げましたが、現在正門入ですぐ右側、軟式テニスのコートがあった所に新校舎を建設中です。この夏完成予定ですので、お近くに来た際はぜひ見てください。



発行
山陽同窓会
〒733-8551
広島市西区観音新町 4-12-5
TEL 082-232-9156
FAX 082-232-2497
http://www.sanyo.ed.jp/